

歴史文化継承委員会計画

委員長 中村 茂雄
副委員長 峯岸 広利
幹事 倉井 直人

【基本方針】

私たちが住まうこの上越は、上杉謙信や城下町高田に代表される遺産や偉人など、歴史資源にとっても恵まれている地域といえます。しかし豊富に点在する歴史資源をうまく活かしきれていないのではないのでしょうか。人口減少が進み、高速交通・情報網が整備され、地域の個性を活かした運動による交流人口の増加がより重要性を増している現在、まずは地域に住む一人ひとりが、歴史や文化を故郷の宝として再認識し、地域の魅力として発信・伝播していく事で、地域内外の人々が行きかう活気あるまちに繋がるものと考えます。

折しも2014年には、高田開府400年を迎えこのまちの魅力を考えるうえで絶好の機会が訪れます。まずは高田開府400年に向けて地域に根ざした活動が盛んな市民団体と連携し、相互に協働できる会議体を築きます。そしてこの地域に息づく城下町としての歴史的町並みや遺産・文化の特色を共有し、3年後に向けた方向性の確立を目指してまいります。また担当例会においてこのまちの歴史的価値を広く認識する場とし更なる地域の機運を高めてまいります。次に、城下町としての魅力を発信する事業を行います。昨年設置された辻標を活用し、住んでいると意外と気が付かないまち並みや文化などに触れる機会を創出し、まちの歴史に対して興味から愛着へと繋がるような運動を行ってまいります。また地域外の方々にはこのまちへ来て頂くきっかけを創出し、リピーターとなって頂けるよう城下町高田の歴史や文化を感じる事が出来る仕組みを構築します。これらの事業を通じて、地域住民がまちの個性を継承し発信していく事で、交流人口の増加に寄与し、市民が主体となった地域の活性化を目指してまいります。さらには歴史で繋がった青年会議所同士の交流を推進し、地域と地域の文化の交流を図ってまいります。

先人が残してくれた歴史的な資源や伝統と文化、またその根底にある地域の精神性を未来の上越に残し継承していく事が我々責任世代の役割であり、地域外の人に発信・伝播していく事業を展開することで、人が行きかうまち、グランドデザインに掲げる「真に豊かなまち上越」を目指してまいります。

委員会職務分掌＜事業内容＞

1. 歴史文化資源の活用事業の実施
2. 高田開府400年に向けた運動の実施
3. 7月担当例会の開催
4. 第30回全国城下町シンポジウム松本大会への参画
5. 姉妹・友好JCとの交流（国内）